

## 2012 年度カリキュラム改訂(Ver.4)

### [決定事項]

1. 卒業研究、特別研究の配置は従来通りとする。  
(ア) 特別研究は JABEE 必修から削除。英語もなくす。  
(イ) 卒研の時間配分や合格基準は見直す。
2. PC を使った教育は Windows ベースとする。  
(ア) Linux 教育は継続する。ただしどこまでやるのか、どういう環境でやるのかは要検討。  
(イ) 卒論、システム実験のレポートは MS-Word 提出主体となる。(LaTeX は排除しない。)
3. キャリア教育  
(ア) 3 年次は、先端情報システムとキャリアプランニングで十分。名前の変更は必要  
(イ) SPI 対策に力を入れる。1 年から取り組む。(事前スクリーニングとして補習形式とする)
  - ① 鶴亀算等は学力の低い学生には最適。
  - ② C、D ランクの学生の引き上げを目標とする。
4. 継続的学習能力の育成(JABEE で必要)  
(ア) ゼミ 1 または大学入門 (JABEE)必修化
5. 高度で少人数しか受講しない科目について。  
(ア) 大部分の学生に実効性が乏しいものは時間数削減または、  
(イ) 科目企業との連携および実務をしている非常勤講師が担当する。
  - ① 例 組み込みシステム演習 1、2 など  
(ウ) 原則、専任教員は基礎科目を担当
6. 2 年次以降の留年対策  
(ア) 1 年はだいぶ緩んでいて 2 年に先送りし、2 年で授業についていけない学生が増加している。特に緩くする必要はない。  
(イ) ただし、論理設計演習などは並列開講が必要であるため、それより難易度の低い科目の開講が必要。(非常勤で対応する)
7. 自主学習時間の設定(JABEE で必要)  
(ア) 方法は後で検討
8. キャップ制はいかに?(学部審議事項)  
(ア) 総合情報学部では 58 単位として案が出ている。
9. エンジニアデザインの評価 (JABEE で必要)  
(ア) デザイン演習(3 年前期)

**[以下継続審議]**

10. 日本語作文の上達
  - (ア) 卒研ですます。
  - (イ) 授業を作る。
  - (ウ) ゼミ 1、2 で対応
11. ゼミ 1 について。
  - (ア) 運用の効く授業はあったほうがよい。
  - (イ) 日本語上達？
  - (ウ) 講演
  - (エ) キャリア
  - (オ) グループワーク？
12. ゼミ 2 について
  - (ア) 運用の効く授業はあったほうがよい。
  - (イ) 特に変更しなくてよい。 講演+プレゼミ+その他

**[事後検討]** 科目一覧案ができた後に検討

13. 卒研時間数
14. 寄附講座 マイクロソフト等(組み込みシステム、Windows、Android など)
15. 授業 1, 2 のようなものは週二回やって半期で終了する。とくに 1,2 年次
16. 科目系列毎に学習教育目標を設定し授業整理、変更。
  - (ア) コンピュータシステム/ハードウェア(組み込みシステム/論理設計)
  - (イ) 情報ネットワーク(CCNA/ウェブプログラミング)
  - (ウ) ソフトウェア工学(≒JABEE)
  - (エ) 情報メディア/ロボティクス(CG・画像処理、制御)
17. その他
  - (ア) マークアップ言語、スケジューリングツール等の自己管理